



驚き、発見、感動

子供たちに多様な 体験活動の機会を

～企業の社会貢献としての取組～



page 1～2

文部科学大臣賞
リコー
市村自然塾

page 3

審査委員会特別賞
宝酒造
宝酒造 田んぼの学校

page 4

審査委員会奨励賞
王子ホールディングス
王子の森・自然学校

page 5

審査委員会奨励賞
東洋ライス
いきものみつけファーム

page 6

審査委員会奨励賞
本田技研工業
夏のガキ大将の森キャンプ

page 7

日清食品ホールディングス
百福プロジェクト

JX日鉱日石エネルギー
JX-ENEOSバスケットボールクリニック
ENEOS森のわくわく学校

東芝

「森の科学探検隊」
「分解ワークショップ」

西日本鉄道

にしてつキッズしごと
体験スクール2012

サントリーホールディングス
サントリー水育「森と水の学校」

page 8

明治
きのこ・たけのこ里山学校

キヤノン
キヤノン ジュニアフォトグラファーズ

page 8

トヨタ自動車
トヨタの森
「自然ふれあい体験学習」
「森あそび」

明治安田生命保険相互会社
「海の環境工作教室」
「第6回シーボンアート展と
『私の好きな生きものコンテスト』」

NECキャピタルソリューション
わくわく子どもの池プロジェクト

ブルデンシャル生命 ジブラルタ生命
PGF生命 日本教育新聞社
PRUDENTIAL SPIRIT OF COMMUNITY
ボランティア・スピリット賞

NECネットエスアイ
南極くらぶ

デンソー
デンソーECOレンジャー21
とよはし「ウミガメのふるさとを守ろう！」

page 9

NEC
NEC世界子ども自然クラブ

ディスカバリー・ジャパン
ディスカバリーキッズ科学実験館
～コスミックカレッジ～2012/金環日食記念太陽と
月のサイエンス教室/グリーンカレッジ2013など

ナムコ
被災地に緑と心の復興を
ナムコ「どんぐりひろい」バスツアー2012

森永製菓
伊賀・エンゼルの森自然塾2012

電源開発
エコ×エネ体験ツアー
水力編 @奥只見ツアー @御母衣ツアー

三菱電機
自然から学ぶ、環境・社会貢献活動
「里山保全プロジェクト」
「みつびしでんき野外教室」

三菱化学
夏休み子どもパソコン教室



自然の助けを借り、共に考え、 知恵を働かせ、自らの汗を流し、 自らが成長する「市村自然塾」

子どもの生きる力、大地から学ぶ

(株)リコーは、社会貢献活動の一環として、農作業を中心とした自然体験活動と、異年齢の共同生活を通じて、子どもたちの心と身体の健全な育成・成長を支援しています。

2002年に創業者・市村清の生誕100周年記念事業として「市村自然塾」をスタートしました。

テーマや目標を持って活動

市村自然塾は、3月から11月までのおよそ9カ月間を18のステージに分けて活動しています。参加対象は、小学校4年生から中学校2年生の男女各28人。隔週の金曜日に学校が終わってから神奈川県足柄上郡松田町にある市村自然塾に集まり、日曜日の午前中までの2泊3日を共同生活しながら活動しています。

各ステージは、テーマを設定し、共同生活の目標を掲げて活動します。例えばあるステージでは、「思いやりを持って、夏野菜の植付けをしよう」というテーマで農作業を行い、「ルールを守る」という目標を掲げて共同生活します。

春の種まきから秋の収穫までに行われる一連の農作業は、その全てを子どもたちが行います。子どもたちが育てる野菜は、夏野菜や秋野菜、約30種類に上ります。

農作業や共同生活を通して

子どもたちは、野菜を育てる活動プロセスで、天候や虫などの脅威から思うようにならない自然の摂理を体感します。また、炊飯や食事の片付け、清掃など



文部科学大臣賞

RICOH

(株)リコー

Ricoh Company, Ltd.

市村自然塾

を行う共同生活の中では困難な課題にも仲間とともに考え、創意・工夫して乗り越えることで、達成感や額に汗して働くことの大切さを学びます。そして野菜を収穫する喜びは、食べ物に感謝する気持ちを育みます。

そうした活動を行う一方で、「味噌づくり」「川遊び」「星座観察」「収穫祭」などの自然や環境の大切さ、先人の知恵を学ぶ場も期間内に設けられています。夏には親や家族が参加し、子どもたちと一緒に自然塾の生活を実際に体験します。

大人が寄り添い成長を見守る

こうした子どもたちの活動を支えるスタッフ「世話人」たちは、「指示しすぎない」「命令しすぎない」「教えすぎない」「世話をやきすぎない」という「4無（よんむ）」の基本姿勢を大切にしています。子どもに任せることで自主性を伸ばすためです。

自然塾に参加した卒業生は、「ゴボウの収穫で深く穴を掘ったのを今も思い出す」といった辛かった思い出や「食えること＝命をいただいているのだ」ということを成長するにつれてじわじわ思い出す」といった声など、何年経ってもしつかり心に残る経験をしたことがわかります。

保護者からは「体力がついた」「友達の良いところを見つけられるようになった」「家事を率先してやるようになった」「自信を持って自分の意見を言えるようになった」と、子どもの成長を実感する声が寄せられています。

リコー

市村自然塾 関東 <http://www.szj.jp/>



宝酒造株式会社

宝酒造(株)
Takara Shuzo Co., Ltd.



審査委員会特別賞

宝酒造
田んぼの
学校



自然環境を守ることの大切さ、自然の恵みの ありがたさを理解する「田んぼの学校」

田んぼ体験を 家族共有の思い出に

宝酒造(株)は、社名の「宝」が「田から」が語源ということもあり、子どもたちに自然環境を守ることの大切さや、自然の恵みのありがたさを伝えることを目的として、2004年から小学生とその家族を対象に「田んぼの学校」を開校しています。

京都府南丹市にある田んぼで、もち米の田植えから草取り、稲刈り、脱穀までを体験します。毎回自然観察や、草花名刺づくりなど体験型の授業も合わせて行います。「田んぼの学校」では、その日の体験や感動したことを長く記憶に留めるため、「ふりかえり」の時間に子どもたちがプレゼンテーションして発表する場を設けています。

収穫したもち米は同社の工場で「特製本みりん」になり、子どもたちが作ったオリジナルラベルを貼って参加者ののもとに届けられます。「田んぼの学校」最終回では、収穫したもち米や本みりん、京都・丹波の食材などを使って、親子で料理を作ります。もち米を使ったライスサラダなど珍しいメニューに舌鼓を打った後は「卒業式」。自然環境や食べ物を大切にする気持ちは、親子で1年間がんばった家族の思い出として、子どもたちの記憶に残ることでしょう。

宝酒造「田んぼの学校」
http://www.takarashuzo.co.jp/environment/ko_mesake/



王子ホールディングス株式会社

王子ホールディングス(株)
Oji Holdings Corporation

王子の森
自然学校



審査委員会奨励賞

森林の持つ生態系保全の機能や 森づくりの大切さを学ぶ「王子の森・自然学校」

森・人・産業の関わり、
自然体験型の
環境教育プログラムで

王子ホールディングス(株)は、小・中学生を対象に自社で保有する森林や製紙工場などを活用した自然体験型の環境教育プログラムをNGOと開発し、子どもたちが森や紙について体験を通して楽しく学ぶ、2泊3日のキャンプ「王子の森・自然学校」を2004年から行っています。

今年で10回目の開催となった2013年は、夏休み期間中に全国4カ所(北海道、静岡県、広島県、宮崎県)で開校し、小学校4年生から中学校3年生まで、計80人の子どもたちが参加しました。

自然学校では、製紙工場見学や社有林での間伐体験などを通じ、森林の育成の大切さを学ぶプログラムのほか、各開催地における自然の特徴を生かし、自然観察やツリークライミング、川の源流体験、紙すき体験なども行われました。いずれも森に親しむ「フィールドプログラム」、自然と人のかかわりを知る「社有林プログラム」、王子製紙の工場見学ができる「工場プログラム」で構成されています。

子どもたちが楽しみながら体験し、「森と人との関わり」「人と産業との関わり」について理解を深め、森林の持つ生態系保全の機能や森づくりの大切さを学び、持続可能な開発について考える環境意識を育む場になっています。

王子ホールディングス

<http://www.ojiholdings.co.jp/>



東洋ライス株式会社

東洋ライス(株)
Toyo Rice Co., Ltd.



審査委員会奨励賞

いきもの
みつけ
ファーム



環境や安全な食、健康に関心を持つ 子どもを育む「いきものみつけファーム」

田んぼの生物多様性を 環境教育に

東洋ライス(株)は、環境に優しい農業を子どもたちが体験できるプロジェクトとして「いきものみつけファーム」を、地方自治体や生産者、加工・流通業者や大学、NPOなどと協力して、長野県松本市、秋田県大仙市、滋賀県で展開しています。

参加対象は、幼児から中学生までの子どもと保護者。春の「田植え体験」、夏休みの「いきもの観察体験」、秋の「稲刈り体験」、冬の「流通販売体験イベント」と、1年を通じて「お米」とかわります。特に意識していることは「米の精」を肥料とし、生物多様性を保全する循環型農業です。「米の精」はBG無洗米を作る時にとれる物で水質汚染の原因となるとき汁の成分です。

2013年の8月に長野県松本市で行った「いきもの観察体験」では、自分たちが田植えをした田んぼに入り、昆虫を採ったり、観察したりしました。実際に体験した子どもたちからは「田んぼの中にこんなにたくさんの昆虫がいて驚いた」と口々に言います。収穫後は精米工場の見学や、スーパーマーケットでの販売体験も行いました。「僕たちが作ったお米です!」と呼びかけ、試食販売を行いました。

この活動では、田んぼで泥や水にまみれ、大勢の人とかかわりながら、子どもたちの心と体を成長させることを目指しています。

東洋ライス

<http://www.toyo-rice.jp/>



HONDA

本田技研工業(株)
Honda Motor Co., Ltd.

夏の
ガキ大将の
森キャンプ



審査委員会奨励賞

自分の意見をはっきり言い、ものごとに取り組む 意欲を育む「夏のガキ大将の森キャンプ」

子どもの元気、
森でのキャンプから

国際的なモータースポーツイベントが開かれるサーキット場「ツインリンクもてぎ」の周囲には、緑豊かな里山が広がっています。「夏のガキ大将の森キャンプ」は、敷地内の「ハローウッズの森」を拠点にサバイバルキャンプや那珂川でのカヌー体験、バイク教室などを通して、子どもたちの探究心や忍耐力、表現力や想像力を養います。その日数は3泊3日。2002年から始まり、参加者はのべ200人を超えます。

キャンプを主宰するのは、森のプロデューサー・崎野隆一郎さん。最近の子どもたちの「昔に比べて元気がない」「意欲にとぼしい」「自分の意見を言えない」などの実感から、「子どもを元気にしたい」と、さまざまなプログラムを準備しています。

毎日の食事づくりは、みんなで協力して調理します。テント設営や火おこしもできるようにします。キャンプの集大成は、徒歩だけで太平洋・大洗海岸までたどり着く総距離約60キロの旅です。仲間と協力してやり遂げた後には、大きな自信を得ることができます。

日本体育大学の野井真吾教授との共同研究として、参加者を対象に健康調査をおこなっています。キャンプでの生活が「子どもの元気」につながるようプログラムの改善が進んでいます。

ツインリンクもてぎ

<http://www.twining.jp/>

百福士プロジェクト

日清食品グループの「百福士プロジェクト」は、オリジナリティあふれる社会貢献活動です。子ども用体験プログラムとして、「走食系チルドレン育成プロジェクト」(陸上選手が全国の小学校で走り方と食の知識を伝授)、「児童、厨房に入るべし! プロジェクト」(調理を通じて、食のおいしさ、たのしさ、ありがたさを体験)、「東北の未来を発明しようプロジェクト」(東北3県より1000人をカップヌードルミュージアムへ招待)、「全日本育麵(イクメン)メニューコンテスト」(父子の絆を深める即席麺料理コンテスト)を実施しました。

■日清食品ホールディングス
<http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/csr/>



JXENEOSバスケットボールクリニック

ENEOS森のわくわく学校

6年連続日本リーグ優勝を誇る「JXENEOSサンフラワーズ」のOGが、全国の小中高校で「JXENEOSバスケットボールクリニック」を開いています。また、長野県原村にある「長野県原村ENEOSあゆみの森」では、森の中で秘密基地づくり、たき火起こし体験をしながらエネルギーの大切さを学ぶ「ENEOS森のわくわく学校」も開いています。

■JX日鉱日石エネルギー
<http://www.noj-jx-group.co.jp/>



「森の科学探検隊」

自然をじっくり観察することで、子どもたちの好奇心を育み、環境への意識を高める体験型プログラム。北は青森から南は大分まで、13の府県の公園や山林で自然観察会を行います。



「分解ワークショップ」

クリーナーや電子レンジ、パソコンを子どもたちに分解してもらい、科学のおもしろさやモノづくりの楽しさを伝えます。社員ボランティアの「分解博士」がお手伝いします。



■東芝

<http://www.toshiba.co.jp/>

にしてつキッズごと体験スクール2012

夏休みに、働く楽しさを学びながら、西鉄グループが展開する事業への理解を深めていただくプログラムです。電車運転士クラスや車両整備体験クラスなど、14クラスをご用意しました。

■西日本鉄道
<http://www.nishitetsu.co.jp/>



サントリー水育「森と水の学校」

「未来に水を引き継ぐために」をテーマにした次世代環境教育「水育(みずいく)」。「森と水の学校」は、「サントリー天然水」のふるさとの広大な自然の中で、水や水を育む森の大切さを体感します。

■サントリー
<http://suntory.jp/MIZU-1KU/>





**キヤノンジュニア
フォトグラフィアーズ**

公園や学校の校庭などを舞台に、1人1台デジタルカメラを持って「身近な自然」をパチリ！ 自然や環境に対する意識を高め、写真を通して子どもたちの感性を育んでいます。

■キヤノン
<http://canon.jp/scsa/>



**きのこ・たけのこ
里山学校**

小学校低学年の親子を対象にした自然体験プログラム。「手作りお菓子にチョコレートのトッピング」などと「自然体験」というユニークな組み合わせで「笑顔の思い出」が作れます。

■明治
<http://www.meiji.co.jp/>



**「海」の環境工作教室
「第6回シーボンアート展と
私の好きな生きものコンテスト」**

海岸を清掃し、集めた貝殻やガラス、ゴミなどでアート作品（統一テーマ「私の好きな生きものコンテスト」）を作る「海の環境工作教室」を開催。アーティストが作った作品とともに展覧会を開きコンテストも実施しています。

■明治安田生命保険相互会社
<http://www.meijiyasuda.co.jp/>



**トヨタの森
「自然ふれあい体験学習」
「森あそび」**

豊田市郊外にある広大な里山「トヨタの森」で、年間を通して「自然ふれあい体験学習」を開催。ファミリー向けの「森あそび」は、どんぐり探しや虫探しなど楽しさ満点です。

■トヨタ自動車
<http://www.toyota.co.jp/>



**PRUDENTIAL SPIRIT
OF COMMUNITY
ボランティア・スピリット賞**

中学・高校生によるボランティア活動を募集し、リーダーシップや地域貢献度の高い個人やグループを表彰します。その中から選ばれた米国ボランティア親善大使は、全米表彰式に招待されます。

■ブルデンシャル生命 ジブラルタ生命 PGF生命 日本教育新聞社
<http://www.vspirit.jp>



**わくわく子どもの池
プロジェクト**

環境・生物多様性の出前授業と「ピオトープ」づくりをお手伝いします。周辺観察・設計・造成・観察まで、子どもたちが中心になり、学校の校庭にピオトープを完成させます。

■NECキャピタルソリューション
<http://www.necap.co.jp/biotop/>



**デンソーECOレンジャー21
とはし「ウミガメの
ふるさとを守ろう！」**

愛知県豊橋市の表浜海岸は日本有数のアカウミガメの産卵地。砂浜や生き物を観察しながら環境と人との共生について考え、生き物にやさしい砂浜づくりに取り組んでいます。

■デンソー
<http://www.denso.co.jp/>



南極くらぶ

南極ってどんなところ？ 生き物はいらるの？ オーロラは見える？ 自然や科学への関心を高めてもらおうと、元南極越冬隊員の社員が実体験をもとに楽しい出張授業を行います。

■NECネットエスアイ
<http://www.nesic.co.jp/>

NEC世界子ども 自然クラブ

日本とマレーシア、台湾の子ども達が、自分の国の豊かな自然を体験し、テレビ会議で国際交流するプロジェクト。ローカル・グローバルな視点を持つ人を育てています。

■ NEC
http://jpn.nec.com/



ディスカバリーキッズ科学実験館 「コスミンカレッジ2012」金環日食記念太陽と月のサイエンス教室「リネカレッジ2013」など

JAXA宇宙航空研究開発機構と共催で科学の面白さを体験する機会や、全国でキャンプ体験を実施し、正しい天体観測の方法や生き物観察を学ぶイベントも展開中です。

■ ディスカバリー・ジャパン
http://www.japan.discovery.com
http://www.animal-planet.jp



MORINAGA

森永製菓(株)

ナムコ(株)

namco

被災地に緑と心の復興を ナムコ「どんぐりひろい」 バスツアー2012

東日本大震災で傷つけられた被災地の緑を取り戻す「プロジェクトD」に賛同する企画です。日帰りバスツアーで拾ったどんぐりは、2年間大切に育て、被災地に戻します。

■ ナムコ
http://www.namco.co.jp/



伊賀・エンゼルの 森自然塾2012

三重県伊賀市にある里山で3泊4日のキャンプ生活を通して、自然と共に生きる知恵や環境を守ることの大切さを伝えます。2012年は地元伊賀と福島県南相馬の子どもたちを招待し、交流を図りました。

■ 森永製菓
http://www.morinaga.co.jp



MITSUBISHI
三菱電機
Changes for the Better

三菱電機(株)

POWER

電源開発(株)

エコ×エネ体験ツアー 水力編 @奥只見ツアー @御母衣ツアー

このツアーでは、本物のダムと水力発電所、そして周辺の豊かな自然を五感を使って体験します。最後に、まとめの実験教室でエネルギーと環境の秘密のつながりを学びます。

■ 電源開発
http://www.jp-power.co.jp/econe



自然から学ぶ、 環境・社会貢献活動 「里山保全プロジェクト」 「みつびしでんき野外教室」

事業所周辺の身近な自然を回復する活動「里山保全プロジェクト」で整備した土地で、子どもたちに自然について体験しながら教える「みつびしでんき野外教室」を行っています。

■ 三菱電機
http://www.mitsubishielectric.co.jp/



三菱化学株式会社

三菱化学(株)

夏休み 子どもパソコン教室

事業所周辺地域の子どものためにパソコンを使う楽しさを体験してもらうため、例年夏休みの期間に開催しています。みんなで卓上カレンダーや名前シールを作ります。

■ 三菱化学
http://www.m-kagaku.co.jp/

掲載されている企業の体験活動に参加を希望する場合や詳細については、各企業のホームページなどをご覧ください。

子供たちに多様な体験活動の機会を ～企業の社会貢献としての取組～

企業の社会貢献活動として、子供・親子向けの体験活動が増えています。こうした企業が主催する体験活動は、子供たちに多様な体験活動を提供する上で有意義であることから、今後、更なる広がりが期待されています。

文部科学省では、平成25年度より「青少年の体験活動推進企業表彰」を始めました。このパン

フレットでは、応募のあった活動の中から優れた実践を紹介します。

青少年の体験活動の推進「青少年の体験活動推進企業表彰」：文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken.htm

「体験の風をおこそう」運動

<http://www.niye.go.jp/services/taikennokaze/>

近年、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している傾向にあります。この運動は、子供の健やかな成長にとって、体験がいかに大切であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高める運動です。

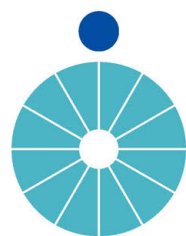
体験の風をおこそう

青少年体験活動奨励制度：JAPAN YOUTH AWARD

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~codomo/jya/index.html>

この制度は、自然体験、運動体験、ボランティア体験、教養体験などの体験活動を一定期間継続した実績に応じて、その達成を記念する修了証（アワード）を青少年に授与する仕組みです。





文部科学省

平成26年2月

担当: 文部科学省スポーツ・青少年局青少年課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL: 03-5253-4111 (代表) <http://www.mext.go.jp/>

青少年の体験活動の推進「青少年の体験活動推進企業表彰」

アクセスはこちら ▶ http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken.htm